

<以下、試訳ですので、ご使用に当たっては原文をご確認ください。>

[https://www.samr.gov.cn/xw/zj/art/2023/art\\_686b2b1654a54f008ed1097621b79c62.html](https://www.samr.gov.cn/xw/zj/art/2023/art_686b2b1654a54f008ed1097621b79c62.html)

## 市場監督管理総局等 7 部門による危険化学品違法事案 7 件を公開

发布时间：2023-08-29 15:00 信息来源：市场监管总局

最近、市场监管总局、中央网信办、教育部、工业和信息化部、公安部、应急管理部、国家邮政局等の 7 部門が、危険化学品販売の関連分野における特別管理に重点を置いて、違法・犯罪行為の取り締まりを強化し、多数の違法事件を捜査・処理し、多数の刑事事件を解決した。違法行為を効果的に抑止し、事件の解釈、教育的警告及び世論の監視の役割を十分に発揮するために、ここに、幾つかの典型事例を選択して公開する。

### (1) 上海市公安局浦东分局；周某仙等 11 人による危険化学品違法営業摘発事例

2023 年 5 月 25 日、浦东分局は危険化学品の違法営業事件を摘発し、事件関係者として周某仙（女、51 歳、浙江衢县人）、陈某锋（男、43 歳、河南商城县人）等 11 人を逮捕し、工業用メタノール等の危険化学品 20 トンを押収した。

調査の結果、周某仙、陈某锋等は**危険化学品営業許可証**を取得していないにも拘らず、大量の工業用メタノールを江蘇省太倉市等から違法な手段で購入し、浦東区にある 2 ヶ所の私設倉庫に保管した；販売担当者 9 人を募集し、SNS 等を通じて工業用メタノールを「環境に優しい石油」と偽ってホテルに販売して、違法な利益を得ていた。・・・以下省略・・・

### (2) 安徽省合肥市公安局；健坤化工有限公司による易制爆危険化学品（爆発物の原料）の記録未提出摘発事例

2023 年 4 月、合肥市公安局蜀山分局は、安徽省危険化学物質公安管理情報システムを使用して、合肥健坤化工有限公司が易制爆危険化学品（爆発物の原料となるもの）を購入したが、即座（5 日以内）に入庫を記録していなかったことを見つけた。6 回も警告したのに拘わらず、同社は依然として何の措置も講じなかった。

同社の行為は、《**危険化学品安全管理条例**》第 41 条第 2 項の規定に違反し、・・・以下省略・・・

### (3) 河南省开封市杞县应急管理局；危険化学品の無許可販売摘発事例

2023 年 4 月 13 日、开封市杞县应急管理局の法執行職員が、何者かが SNS 上の動画でタンクローリーを利用した軽油販売の宣伝をしていることを見つけた。確認の結果、危険化学品（軽油）を貯蔵しているタンクローリーが、杞県の商業用コンクリート構内に駐車されており、現場で計測した所タンク内には 300L の軽油が残っていた。・・・以下省略・・・

#### (4) 江苏省苏州市姑苏区应急管理局；苏州市东吴玻璃仪器有限公司による電子商取引プラットフォームでの危険化学品違法販売事例

2023年2月27日、江蘇省蘇州市姑蘇区应急管理局は、北京經濟技術開發区管理委員会から《举报情况移送函》(情報報告書移送状)を受領した。それは、管轄内の苏州市东吴玻璃仪器有限公司が電子商取引プラットフォームに於いて危険化学品を違法に販売した疑いがあるというものである。

調査の結果、同社は電子商取引プラットフォームに於いて“东吴工業品”のフランチャイズ店登録をして、2022年3月から塩化バリウム(商品番号：10041757258151)の販売情報を公開した。塩化バリウムは《危険化学品名録(2015版)》に記載されている危険化学品であるが、同社の危険化学品営業許可証の“許可範囲”には含まれていなかった。《危険化学品安全管理条例》第77条第3項の規定に基づき、同社に対して罰金107,500元の行政処罰を科した。

#### (5) 湖南省株洲市市场监管局；株洲市星空化玻有限责任公司による危険化学品無許可製造摘発事例；

2023年2月7日、株洲市市場監督局は湖南省市場監督局から製品品質違反の手がかりとなる書簡を受け取り、関連事項に関する調査のために立件した。調査の結果、2022年12月、株洲市星空化玻有限责任公司は湖南省の或る企業から濃度98%硝酸20トンを購入していた。同社は、工業用硝酸の《国家工業製品生産許可証》を未取得の状態で、濃度65%~68%(±2)の工業用硝酸5.5トンを生産していた。・・・以下省略・・・

#### (6) 浙江省杭州市余杭区市场监管局；危険化学品の虚偽広告摘発事例

2023年5月16日、余杭区市場監督局は関連情報に基づき、刘某氏が開設したオンラインストア“鑫盛贵金属”に対する調査を実施した。調査の結果、当事者は、2022年12月8日から電子商取引プラットフォーム上に“希硫酸60%1000m 希硫酸標準液 小中学校化学実験用”という商品と対応する広告を掲載していた。分析試験により、この商品の硫酸イオン含有量は1%未満であり、オンラインストアの説明(60%希硫酸)と不一致であった。販売促進の為にウェブページ上で“60%希硫酸”として宣伝していたが、実際の商品は自家製の油洗剤だった。当事者の行為は《中华人民共和国广告法》第28条第2項第2号の規定に違反し、・・・以下省略・・・

#### (7) 浙江省杭州市郵政管理局；杭州驿峰物流有限公司による危険化学品違法納品摘発事例

2023年4月23日、杭州郵政管理局は、杭州驿峰物流有限公司が電子商取引プラットフォーム上のオンラインストアから受け取った速達郵便物(輸送禁止品を含み、硫酸成分含有標識あり)に関する調査を開始した。調査の結果、同社は集荷過程に於ける安全検査体制を導入しておらず、輸送禁止品の運送を行い、《中华人民共和国反恐怖主义法(テロ対策法)》第20条第1項の規定に違反した。・・・以下省略・・・

以上